

物理学特論 DII, IV

講師：初田 泰之 准教授（立教大学・理学部 物理学科）

9月10日(木)、11日(金)、14日(月) （講義室 理-8番講義室）
(10日3,4時限(変更), 11日,14日 2～4時限)

タイトル：WKB解析とブラックホールの準固有振動数

講義要旨：

量子力学のWKB法は100年前に発見された解析法であるが、驚くべきことに現在においてもその数学的基礎付けは発展中である（完全WKB解析と呼ばれる）。本講義ではWKB法の復習から始めて、完全WKB解析の基礎事項を解説する。特に量子力学の束縛エネルギーや共鳴エネルギーを求める問題、ブラックホールの準固有振動数を求める問題への応用に取り組む。

担当：吉田健太郎